

適用拡大登録

区 分	除草剤
農 薬 名	クロレート S
種 類 名	塩素酸塩粒剤
登 録 番 号	第 11912 号
登 録 会 社	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
登 録 日	令和 4 年 12 月 21 日

登録内容

・農薬登録申請書第 7 項「適用病害虫の範囲及び使用方法」に作物名「きく」、適用雑草名「スギナ」を追加し、【追加事項】のとおりとする。

【追加事項】

作物名	適用場所 使用目的	適用雑草木 名	使用時期	使用量	本剤の 使用回 数	使用方法	塩素酸塩 を含む 農薬の総使用回 数
きく	—	スギナ	収穫後	20～40kg /10a	—	全面土壌散布	—

農薬登録申請書第 8 項中、(6) 及び(9)を下記のとおり変更し、別紙のとおりとする。

【変更後】

- (6) 本剤は、空中散布の場合、ヘリコプター用微粒剤散布装置によって散布すること。
- (9) 開こん地、林地の地ごしらえ、休耕田またはきくに使用した場合、散布後3ヵ月以内は 樹木、作物の植付、は種などはしないこと。

8. 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- (2) 本剤は、主として根から吸収されて雑草木を枯死させる除草剤で、ススキを抑制、枯殺するには株元やその周辺にスポット散布すること。
- (3) 本剤の散布適期は対象雑草木が萌芽し、新葉が展葉をはじめた時期であり、生育の進んだ雑草木には効果が劣るので、時期を失しないように散布すること。
雑かん木、一年生及び多年生雑草は草丈 50cm 以下が散布適期である。ススキは草丈 20cm 以下が株処理適期である。
- (4) 地ごしらえの場合は、手まき、手動または、風速の大きい動力散布機で地ごしらえ地全面にまき残しのないように散布すること。
- (5) 下刈りの場合は、風速を小さくした動力散布機で茎葉または土壌表面に均一に散布すること。
- (6) 本剤は、空中散布の場合、ヘリコプター用微粒剤散布装置によって散布すること。
- (7) 降雨時、降雨の予想される場合、積雪時及び土壌凍結時は、使用をさけること。
- (8) 下刈りの場合、降雨時または降雨後など、植栽木の茎葉がぬれている時の散布は、薬害を生じるおそれがあるので、植栽木をさけて散布すること。
- (9) 開こん地、林地の地ごしらえ、休耕田またはきくに使用した場合、散布後 3 ヶ月以内は樹木、作物の植付、は種などはしないこと。
- (10) 下刈りに使用する場合、植付当年の使用はしないこと。
- (11) 竹類の節間投入処理の場合は、ドリル等で穴を開け、ろうと等を用いて粒剤のまま投入し、投入後は穴をコルク栓等で塞ぐこと。
- (12) 本剤を水稻刈取り跡に使用する場合には、次の事項に注意すること。
 - ① 一年生雑草および多年生イネ科雑草防除に使用の場合は、水稻刈取後、秋期雑草生育期に使用すること。
 - ② オモダカに使用の場合は、水稻刈取後なるべく早く使用すること。
 - ③ 本剤は排水良好な一毛作田で使用し、散布前に落水し、全面に均一に散布すること。
- (13) 植栽地を除く樹木等の周辺地で使用の場合は、薬剤が樹木類等の植栽地に流入または飛散するおそれのある場所等では使用しないこと。また、樹木類等有用植物の根が分布していると思われるところでは使用をさけること。
- (14) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (15) 本剤は従来品に比べて難燃性に製剤してあるが、散布前後には散布機をよく清掃して油や汚れを拭き取ること。
- (16) 散布時本剤が身体や作業衣に付着の少ないよう風向等に注意し、散布したところを歩かないこと。
- (17) 本剤のしみこんだ作業衣は、火気に対して燃えにくくなっているが、作業後水洗いすること。
- (18) 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
- (19) 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- (20) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

作物名	適用場所 使用目的	適用雑草木名	使用時期	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	塩素酸塩 を含む 農薬の総使用回数
開墾後に栽培 する農作物等	開墾地	一年生及び 多年生雑草 雑かん木	雑草生育期	15～25kg/10a	—	全面均一散布	—
						空中散布	
きく	—	スギナ	収穫後	20～40kg /10a		全面土壌散布	
まつ からまつ えぞまつ とどまつ	地ごしらえ	一年生及び 多年生雑草 雑かん木	雑草生育期	15～25kg/10a	2回以内	全面均一散布	3回以内
	空中散布						
	下刈り	10～20kg/10a	全面均一散布				
	空中散布						
地ごしらえ又 は下刈り	ススキ	雑草生育期	30g/株径 20cm 60g/株径 30cm 85g/株径 40cm	1回	株処理		
ぶな かんば	地ごしらえ	一年生及び 多年生雑草 雑かん木	雑草生育期	15～25kg/10a	2回以内	全面均一散布	
	空中散布						
	下刈り	10～20kg/10a	全面均一散布				
	空中散布						
すぎ ひのき	地ごしらえ	一年生及び 多年生雑草 雑かん木	雑草生育期	15～25kg/10a	2回以内	全面均一散布	3回以内 (全面土壌散布は1 回以内、但し当該処 理をする場合には雑 草茎葉散布、全面均 一散布、空中散布及 び株処理は合計1回 以内)
	空中散布						
	下刈り	10～20kg/10a	全面均一散布				
	空中散布						
地ごしらえ又 は下刈り	ススキ	雑草生育期	30g/株径 20cm 60g/株径 30cm 85g/株径 40cm	1回	株処理		
林地 放置竹林	竹類	竹類生育期	45～60kg/10a		全面土壌散布		
樹木等	公園、堤とう、 駐車場、道路、 運動場、宅地、 のり面等	一年生及び 多年生雑草	雑草生育 初期～中期	15～25kg/10a	3回 以内	植栽地を除く樹 木等の周辺地に 雑草茎葉散布	3回以内 (全面土壌散布は1 回以内、但し当該処 理をする場合には雑 草茎葉散布は1回以 内)
		ササ類	雑草生育期	45～60 kg/10a	1回	植栽地を除く樹 木等の周辺地に 全面土壌散布	
		竹類	竹類生育期				

水稻 (水稻刈取跡)	水稻刈取跡	一年生雑草及び 多年生イネ科雑草	水稻刈取後 (秋期雑草 生育期)	20~25kg /10a	—	水稻刈取跡に 全面土壌散布	—		
		オモダカ		30~40kg /10a					
水稻 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	水稻刈取後	20~40kg /10a		—		全面土壌散布	—
水田作物、 畑作物 (休耕田)	休耕田	一年生及び 多年生雑草	雑草生育期	30~60kg /10a					
樹木類	林地 放置竹林	竹類	竹類生育期	10~20 g /本	節間に穴を開け そのまま投入				